

# 2020年度 和歌山市立野崎西小学校 スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 田窪 伸 作成日 2020年 5月15日

## 和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

## 保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい
- 子供が楽しく通える学校にしてほしい
- 相手の気持ちを考え、人を大切にする子どもに育てしてほしい
- 地域に誇りをもってほしい

## 【学校教育目標】

自ら学ぶ意欲と強い信念を持ち、  
社会の変化に主体的に対応して  
たくましく生きる心豊かな児童の育成に努める

## 【めざす児童像】

- ・地域を愛し、地域を大切にする子
- ・自他の人権を大切にし、思いやりとやさしさのある子
- ・自ら課題をもち、自ら考えようとする子

## 前年度の学校評価

- 落ち着いて学習できている
- 日々児童理解に努め、個に応じたきめ細やかな指導を続けてほしい

## 児童（生徒）の実態

- 困っている子を助けてあげる優しい気持ちをもっている子が多い
- 外で活動的に遊び、いろいろなことに興味をもって取り組む子が多い
- じっくり考えて自分の考えをまとめて表現することはやや苦手
- 家庭学習の定着率がやや低い

## 重点目標

### 確かな学力の向上

- ◎教員一人一人の授業力向上
- ◎児童からの発言を大切にしながら授業の推進
- 家庭学習の定着

## 具体的な取組

- 授業の参観や板書例を参考にし、積極的に授業改善をおこなう
- 国語・算数の提案授業・協議会を通し、個々の教員の授業力向上を目指す
- 息学やフォローアップタイムを計画的に運用し、基礎学力の定着を図る
- 長期休業中を利用して全学級で基礎・基本を定着させ、苦手意識をなくさせる。
- 家庭学習の習慣を定着させるために、発達段階に応じた家庭学習の手引きを配布し、「自主学習ノート」の作成を啓発する
- 家庭と連携し「うちどく」の推進する。

## 指標

- ・全国や県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均以上を目指す
- ・わたしは毎日の授業がわかる 90%
- ・児童の興味・関心・意欲を引き出させる指導の工夫をしている 100%

### ゆたかな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎一人一人を大切にする教育の推進
- 体験的活動を多く取り入れ、心豊かな子供を育てる
- 全児童を全職員で育てる

- 学年に応じた読み物資料の活用や問題解決的な学習、体験的な学習を計画的、発展的に取り入れる
- 出前授業を活用し、各方面の専門家の考えを理解し、多面的・多角的に物事を考える能力を育成する
- 児童会を中心に、公園掃除など地域の方々との連携を図る
- 休憩時間や放課後においても児童と積極的に関わり、全職員で全児童を育てる学校運営を組織的におこなう

- ・学校が楽しいと感じる 100%
- ・道徳教材の活用 100%
- ・いじめの解消率 100%

### 健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

- 体育が楽しいと感じるよう、教材研究や体育環境の整備をおこない、授業実践を通して研究を深めつつ、子供たちの体力の向上を図る
- 運動場で遊ぶ機会を増やし、遊びを通して体力の向上と豊かな心を育てる
- 朝の運動を通じて、さまざまな運動感覚を養い、体力の向上を図る
- 健康生活チェックや歯磨きチェックなどを通して、自ら健康管理のできる子供を育成する

- ・朝ごはんを食べた 100%
- ・SテストA・B判定 50%
- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した (教師90%)
- ・給食が楽しみ (児童90%)

### 開かれた学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- 地域の教育資源や人材活用の推進
- 学生ボランティアの活用

- 毎月「学校だより」を保護者や地域の方に配布するとともに、ホームページを通して学校の情報発信に努める
- 地域や関係機関の教育力を生かすためにゲストティーチャーを積極的に招聘し、教育活動を活性化させる
- 夏休み作品展を通し、公民館との交流を図る
- 和歌山大学への避難訓練や公園清掃を関係機関や育友会、地域と連携しておこなう
- 学校運営協議会委員の方々に積極的に来校していただき、いただいた意見を保護者や地域に向け情報発信していく

- ・学校の様子がよく伝わった (保護者95%)
- ・子どもは学校の出来事をよく話す 95%

◎：特に重点的に取り組むこと